

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【美術科／デザイン・工芸】

### 1. 対象

生徒同士の対話的な活動においては、これまで様々な学習活動の中で話し合い活動の経験を重ねてきたことで、生徒が主体となって意見を出し合い、自分達の意見をまとめる力がついてきている。新しいことを学んだり経験したりすることに興味を持ち、積極的に学ぼうとする集団である。

美術の実態については、6名とも実物や写真を模写して描いたり、紙や木材、針金などを使った工作は好きである。しかしテーマに沿ったデザインを考えることは苦手であり、自分の好きな植物やサッカーボール、戦車など毎回同じようなものを描く傾向にある。

### 2. 単元名「印象に残るシンボルマーク～本校創立〇周年の記念品を作ろう～」（全7時間）

### 3. 単元で育成を目指す資質・能力

①知識及び技能	伝達するイメージを捉え、テーマに合ったマークの制作を行うことができる。 彫刻刀やデザインカッターを安全に扱い、消しゴム判子の作成を行うことができる。
②思考力, 判断力, 表現力等	伝えたい内容やイメージ、伝えたい場面を基に、わかりやすさと形の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
③学びに向かう力, 人間性等	分かりやすく印象に残るマークをデザインすることに感心を持ち、意欲的に取り組むことができる。

### 4. 本時の目標

省略

### 5. 授業展開【 単元 】

#### 解決したい課題や問い

消しゴム判子を押しして創立〇周年記念のオリジナルエコバッグを作成し、来校者にプレゼントしよう。  
本校の特色や良さが伝わる消しゴム判子のデザインを考えよう。（一人一作品制作）

#### 考えるための材料

〇〇市の特産物や本校の特色が分かる写真や資料	消しゴム判子の見本（7.5mm×7.5mm） 教科書のシンボルマークやピクトグラムに関するページ	デザイン画や友達の意見を書き込めるワークシート
想定される活動		
〇〇市や〇〇中学校の特色や良さに気付く。	白（彫る）、着色（彫らない）の2色で表現するため、イメージを単純化してシンプルなデザインにする必要があることに気付く。	友達からの意見を参考にしながら自分のアイデアをまとめ、デザイン画を作成することができる。

### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

6名で資料を見ながら10分程度話し合う。その後デザイン図を何枚か描いて見せ合う。一人ひとりが意見を発表し、それをワークシートにまとめる時間を設ける。

「本校のキャラクターを使いたいな。〇〇の特産と組み合わせたいな。」

「市で有名な食べ物にはウナギや〇〇ミカンなどがあるね。」

「楽器や自動車・バイクの製造も盛んだね。ピアノの鍵盤を描こうかな。」

「学校の周りは自然が豊かでリスやカブトムシ、ヤモリが住んでいて、松が生えているよ。」

「校章にもある〇葉のデザインはどうかね。」

「本校の良さは全員の仲が良いところだね。」

「2色で表現するには直線や円などを使ってシンプルな線にするといいね。」

「線が重なる部分はどう表現すれば分かりやすいかな。」

「〇〇さんのデザインはみんなが手をつないでいて、児童生徒の仲の良さが伝わると思います。」

### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

友達と話し合うことで〇〇市の特産や本校の特徴に気付き、テーマに沿ったデザイン画を描くことができる。①

2色で表すために工夫し、シンプルな線でデザインすることができる。②

友達の作品を鑑賞することで工夫や良さに気付くことができる。③